



青南だより

令和3年3月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜節目で見える日々の成果＞

6月から始まった異例の一年も、いよいよゴールが見えてきました。お陰様で子どもたちはたくましく育ち、私たちに幸せを届けてくれています。生活発表会では、どの学級でもこれまでの遊びや生活で楽しんできたことや大事に育ててきたことを劇の中で見ることができました。保護者の皆さんにも、子どもたちの様子から、日々の積み重ねの大切さや主体的に生活することの重要性をご理解いただけたものと思います。

＜お互いを認め合う究極の姿＞

劇は、どの学級もそれぞれ別の出し物に取り組み、学級の友達とのつながりを深めました。その上で、年長組は翌週、衣装などを貸し借りし合って一緒にお互いの劇を演じ合いました。子どもたちは、隣の学級の劇のセリフや動きなどをよく覚えていて、教え方も優しく、何より自信に満ちていました。これまで日々の遊びや生活、行事の際にも学年で行動してきたからこそ生まれたうれしい姿です。一人一人の成長と心のつながりが感じられた至高のひとつときでした。私も作ってもらった猫のお面を被って一緒にダンスを踊らせてもらいました。

＜憧れの心がつなぐバトン＞

年少組もお互いの劇のダンスを教え合っています。他にも、上の学年のお面や衣装を借りて遊ぶ姿や年中児が年長児にうさぎの世話や靴箱掃除などの当番活動を教えてもらっている姿も見られ、微笑ましい限りです。

P T Aの皆さんも引き継ぎを始めてくれています。年長組は、親子共に今年度の青南幼稚園をリードし、支えてくれました。お陰様で充実した日々を送ることができました。3月は年長さんをはじめ、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝える季節でもあります。一年間、本当にありがとうございました。

・・・弥生（やよい）・・・

けいちつ

啓蟄（5日）…園庭ではどんな虫たちが目覚めるでしょう

しゅうんぶん

春分（20日）…園庭の桜はいつ頃開花するでしょうか…

先日の誕生会で、桜やこぶしの冬芽を紹介すると、園庭に春を探しに出掛けた子どもたちが、裏庭でフキノトウを、築山では沈丁花の花を見付け、うれしそうに教えに来てくれています。わくわく池には今年もヒキガエルたちがやって来て、早くも卵を産んでいます。自然の小さな変化に気付く感性は、子どもたちの小さな育ちを読み取る感性にもつながります。さてこの一年、皆さんはどこで季節の移ろいを感じたでしょうか？次の一年も、身近な自然の営みをお楽しみに…。

青南の
二十四節気



お互いの学級の劇と一緒に楽しむ年長児！



11匹の猫のダンスを踊らせてもらったのは私から年長児への最大級の褒め言葉！！



当番の引き継ぎも生活の中で自然に



春を探しに裏庭に出掛けてみると…



伸びていたフキノトウを発見！